

第59回鹿児島大島嶼研究勉強会

奄美分室で 語りましょ



ウイルス感染による奇形果

葉のモザイク症状

パッションフルーツの栽培で問題になった 果実奇形の原因ウイルスについて 岩井 久(鹿児島大学 名誉教授)

奄美大島ではパッションフルーツの本格的な栽培が1980年代に始められましたが、それと同時に、果実の奇形が頻発し問題となりました。その原因ウイルスの制圧過程を紹介しながら植物病虫害の制御方法について議論します。

開催日

8月19日(水)
18:30 ~ 19:30

☆講演後に、会場で懇親会を行います

参加方法 ① 会場での参加
鹿児島大学奄美分室(港町 絢会館6階)

参加方法 ② オンライン視聴 (Zoom)
各自のネット環境からスマホやPCで参加
要事前登録: 8月17日(月)まで
*視聴方法は後日メールでお知らせします。

お問合せ
お申し込み

参加申し込みQRコード



- ・名前(必須)
- ・電話番号(必須)
- ・所属

上記をメールまたは電話でご連絡ください

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室
Tel: 0997-69-4852
Mail: amamist@cpi.kagoshima-u.ac.jp

研究会の詳細・過去の会や出版物などの案内は島嶼研 HP や各種 SNS から

Web ページ



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram

